862
1

幸太夫船一件寫

国立国会図書館　タイトル『幸太夫船一件写』　請求記号 862-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『幸太夫船一件写』 請求記号 862-1

ガラス使用

862
1

40

幸太夫船一件写

国立国会図書館　タイトル『幸太夫船一件写』　請求記号 862-1

ガラス使用

862-1
40

帝國圖書館

昭和二十一年

世友下蝦夷地クナシリ并アツケシ毎場所
交施人ハ追て此先ヨリ御有太風聴雲書之
筆ニ有荒ニ書有御有之儀写之左ニ上ル
赤蝦夷人数居ル
先年之事上ル通

一赤人中笑ル話夷風雪ニ為ニ御得ル [redacted]
日本人より事ヲ作リ可ニ殺人ヲ居ルニ
船又云被先も相立ニ居ル中ヨリ船無
大槩又云百石積と相見ル得ル千石位も

国立国会図書館　タイトル『幸太夫船一件写』　請求記号 862-1
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『幸太夫船一件写』　請求記号 862-1

ガラス使用

城下之行道之所中三ヶ所ニ而ハ撮り城下道
最寄ヶ年又カンサツカ之所中三ヶ所ニ漂流
より都合ニ拾壹年
一ヲロシヤ国ハ寒国ニて年ハ無之ニ油ハ処之ニ
出之国ニ之所業ニて創ル又糟中酒之国
一鈴薯之飯ハ麦ノ汁ヨリ牛油砂糖ニて称り
已ニて大べ人よし又ハ菜ヲ作麦ヲ称り砂糖牛
油ニて称り中也さしじニて給ふ式時冬
牛肉の塩漬をも給中此国食事の間ニハ

麦菓子ニて菜ヲ給中国菜ヲ呑て夜毎ニ
必砂糖沢山ニ入人よし
一きせるも出之人国煙草ハ括別上京も出之国
一元服ニ石火矢銭枝交出之国持船ハ三ツ
有之国波ニて持ハ船持も出之よし一躰
蜜国之書ニて他国通り之商船兵器
通行所之国とかけ
一洲度年り人蜜人之内昇鈴沙格田又昇

其中者ハ眼中日本人同様ニ候是ハ
先年漂流ニ而彼ニ而子作のよし 蛮人ニ而
眼中茶色眼ニ相成ニおろしやよしめがね
ふざけ候ニ而相成ニ而人見斗かしましき男也めて
おろしや取申候よし

一ヲロシヤ之国ハ近ク日本のよふニ出家者ハ無
之入不申候 皆鉄砲を舎車ニ府斗り火ヨ取候
申候よし 此国蝦夷地子モロノ仮何居宅総
同様ニ横ニ而天井ニ窓許ニ而瑠子ニて
張候よし

一此国之赤人ニ高サ五紀者之由衣服ハ花
結ゑ而風俗ニ和ヤ乳牛肉牛油ヲ食す
読ミ御座候 蝦夷よりハ一躰ハ宜き者ニ候

一ヲロシヤノ佛法ハ流居ニ大国ニても一法ニ而
業法無流無之よし 併シ今ハ日本同様ニ
ハ不残神明とも釈迦如来とも彼国の天子
ニ而佛流を立月三度相祭り申ニ而
號ハ今之威并ニ天下ニ法威甚良よし

人主以前御之後ハ后人主となり后後ハ
太子人主ニ史ニ
南時后之時代太子三十余年之間ニ
此庭ニ得ルも未位ヲ不禅（ユツラ）

一紀州之船頭水主及ヲロシヤ城下ヘ乗り此管
黄令之市札國主分ヲ下れとよし右市札ニ
世之海成物高ニ組宗殺之主人主之よし
右市札殺丸ノ首ニかけ之ハヲロシヤ主国中
を師の若者之説見物ホニも如何さ見り

世之由依之ヲロシヤ城下之重ニ敷樓（ロウカリ）客
悉ク見物殺ルよしヲロシヤ城下ノ郭迴り
見物殺ル所十七日相違ニ此よし船頭幸太夫
中ニハ小國之船ニて及不申ニよし物語ニ

一宗組拾七人之内拾弐人死去殺ル又人之内
三人之世変乗り人よし今弐人之内壱人之
蜜國原中之内ニ大毒之川ニ行是ヲ踏ン
迚ニ此者くニ今より此ニ行ル料理ヲ以

国立国会図書館　タイトル『幸太夫船一件写』　請求記号 862-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『幸太夫船一件写』　請求記号 862-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『幸太夫船一件写』　請求記号 862-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『幸太夫船一件写』　請求記号 862-1

ガラス使用

862
1

20
十一年

国立国会図書館　　タイトル『幸太夫船一件写』　請求記号 862-1

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『幸太夫船一件写』　請求記号 862-1

ガラス使用

862
1

国立国会図書館　　タイトル『幸太夫船一件写』　請求記号 862-1

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『幸太夫船一件写』　請求記号 862-1

ガラス使用